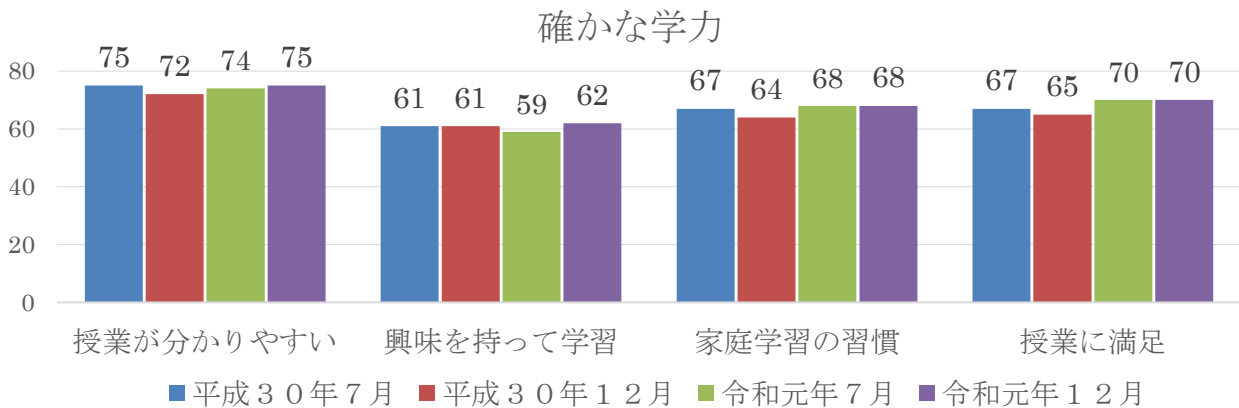


令和元年度（12月）学校評価 保護者アンケート調査結果

※ グラフの数値は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計（%）です。

1 確かな学力

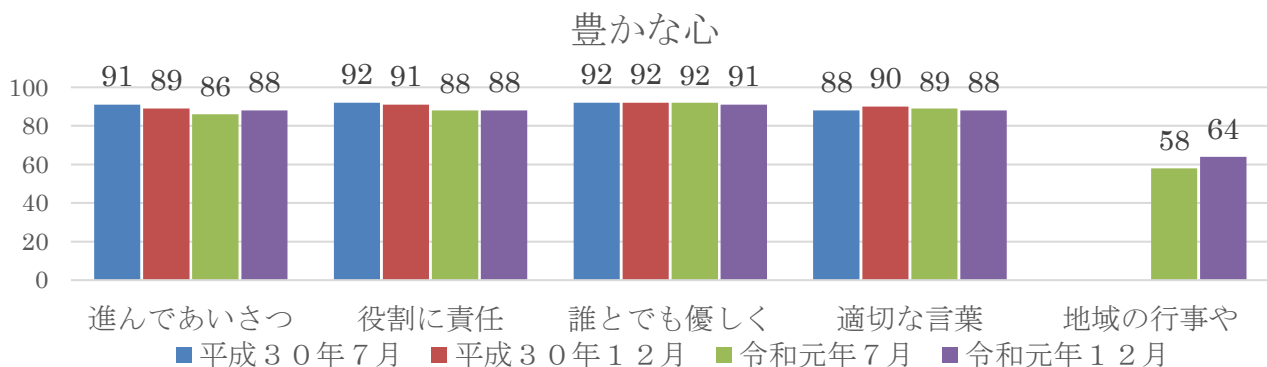
- 設問1 お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。
 設問2 お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる。
 設問3 お子さんは、家庭学習の習慣が身につけている。
 設問4 お子さんは、学校の授業に満足している。



確かな学力に関しては、どの項目においても肯定的な回答の割合は、7月の数値とほぼ同じ状況もしくは僅かではあるが増えた状況が見られた。ただ、そのような中で、否定的な回答があることも事実であることから、今後も、よりわかりやすい授業、意欲的に参加できる授業の展開に努めていきたい。

2 豊かな心

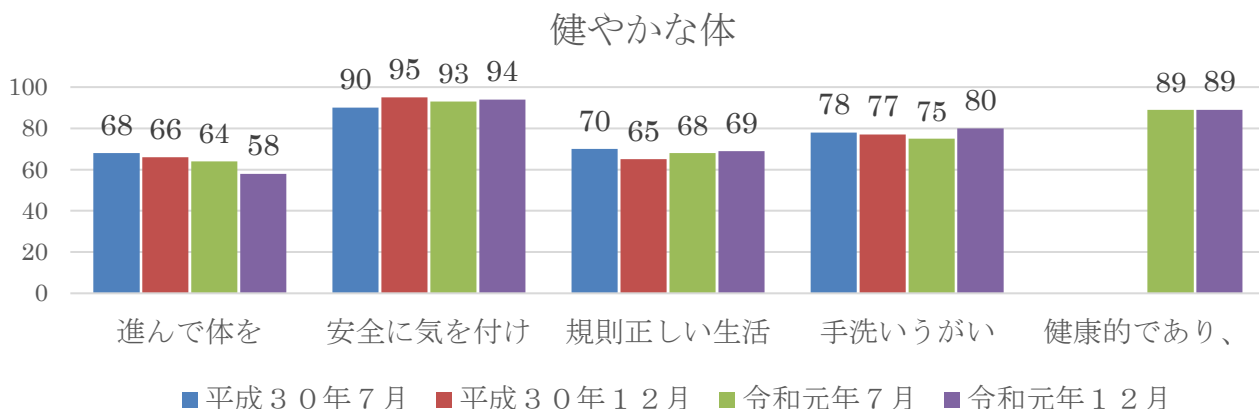
- 設問1 お子さんは、友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている。
 設問2 お子さんは、自分の役割に責任を持って取り組んでいる。
 設問3 お子さんは、誰とでも優しく関わっている。
 設問4 お子さんは、場に応じた適切な言葉をつかっている。
 設問5 お子さんは、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加している。



豊かな心の4項目については、大きな変化は見られず、ほぼ7月と同じ状況であったが、地域の行事やボランティア活動への参加については、肯定的な回答が増えた。子どもは地域で育むという視点から、今後も交流の機会を提供し、積極的な参加を促していきたい。

3 健やかな体

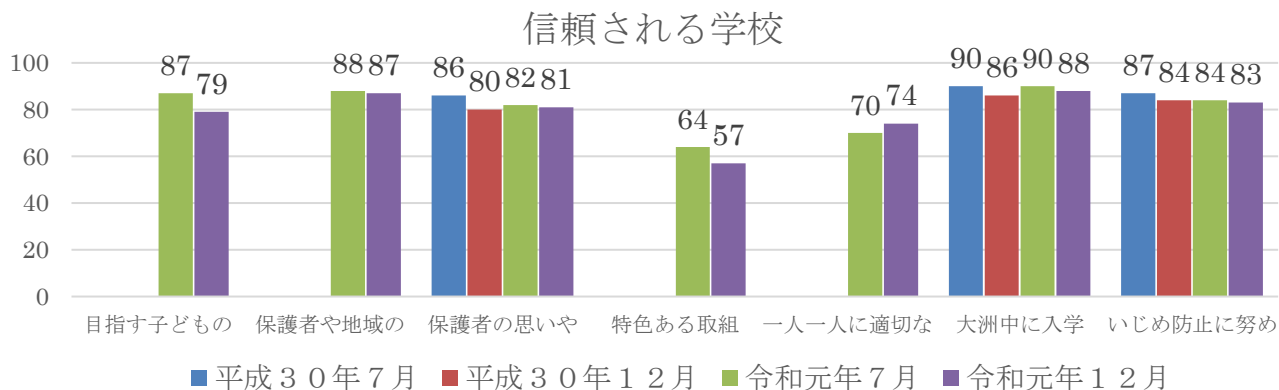
- 設問1 お子さんは、(外で遊ぶなど) 進んで体を動かしている。
 設問2 お子さんは、自らの安全(交通事故・けがなど)に気をつけて生活している。
 設問3 お子さんは、規則正しい生活習慣(睡眠・食生活など)が身についている。
 設問4 お子さんは、帰宅したら手洗いやうがいをしている。
 設問5 お子さんは、健康的であり、部活動や行事に意欲的に参加している。



進んで体を動かすことにおける数値が下がってしまったことは、季節的なことが影響していることも考えられるが、健やかな体を作っていくためにも、体を動かす機会を持つことを奨励していきたい。規則正しい生活習慣については、微増の状況であった。運動・睡眠・食事(朝食)は、心身の健全な発達だけでなく学力の向上にも影響がある。様々な視点でよりよい生活習慣の確立を図っていきたい。

4 信頼される学校

- 設問1 学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について保護者に理解されるよう努めている。
 設問2 学校は、保護者や地域の方々とともに、子どもを育てる取り組みをしている。
 設問3 学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している。
 設問4 学校は、特色ある取組や教育を進めている。
 設問5 学校は、子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている。
 設問6 お子さんを大洲中学校に入学させてよかったと思う。
 設問7 学校は、いじめ防止や楽しい学校生活を送れるように努めている。



この柱においては、多くの項目が7月と比べ若干数値の低下は見られたものの、ほぼ同じ状況であった中、学校の取組や考えを伝えていくことに関する項目の数値には、明らかな低下が見られた。この結果を真摯に受け止め、学校の情報周知や取組の工夫等に努めていきたい。